

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 28

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 9 月 19 日（水）、八代市麦島校区（会場：千反町一丁目地域学習センター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	15 名
市外	2 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・川辺川ダムについて、小委員会の中でも議論され、潮谷知事もいろいろな意見を言ったと新聞でも紹介されていたが、川辺川ダムについて報告会で触れられないのはなぜか。
- ・基本方針の審議過程で川辺川ダムに触れたのは河川法に反するのではないか。
- ・農林センサス 2,000 年のデータが使われているが、もう 2,005 年が出ていると思うので、最近のデータを使って欲しい。
- ・ピーク流量（基本高水流量）と河川で受け持つ洪水時の最大流量の差分をどこかで調節しなければいけないが、これにダムという問題が関連してくるのではないか。また、ピーク流量、最大流量、正常流量を具体的に教えて欲しい。
- ・横石地区の流量の説明があったが、あそこで流量が多ければ問題というのは分かるが、流量の場合はなかなかピンとこない。球磨川流域の住民には洪水が一番の心配である。洪水の場合、水位でみるのか、それとも水量でみるのか。また、危険水位については、どの地点でどの水位で危険かは平均水面をみれば分かるので問題無いと考える。

【球磨川の治水対策について】

- ・麦島校区では、100 年に 1 回の大雨には耐えることのできる護岸・堤防の整備が出来上がっていると思っていいのか。
- ・大潮と豪雨が重なった時に、球磨川の水面は麦島校区でどのくらい上がるのか。シュミレーションがあったら教えて欲しい。
- ・昨今の異常気象の中で、局所的な集中豪雨がある。東北でもそうである。
- ・球磨川流域では、洪水等の被害総額はどれくらいを見込んでいるのか。
- ・避難勧告については基本的に国が指示し、八代市が状況を判断し避難勧告を実施すると思っているが、具体的に知りたい。
- ・麦田地区に設置してある水量計が、昨年大雨で壊れたまま放置されている。必要なのか。必要であればいつ整備するのか。
- ・麦島地区では高潮時に偏西風・西風の影響が重なったとき、水位上昇が拡大する。
- ・自主防災について、実際、洪水時に川の状況を麦島地区内 3,000 世帯にどのように伝えるのか。また、実際の堤防が決壊した際の、避難を含めたシュミレーション（訓練）を実施して欲しい。

【球磨川の環境について】

- ・前川の方は川の周辺がきれいに整備されているが、麦島地区については、対岸には遊歩道も出来ているのにこちら側には何も無い。この差は何なのか。今後の計画を知りたい。
- ・麦島地区で環境巡視をやっており、麦島地区は環境に恵まれていると感じているが、その反面、堤防からのゴミ

のポイ捨てが目立ち見苦しい。管理面の責任として国土交通省に去年要望書を提出した。子供の頃から球磨川で過ごしてきたが、このごろ、子供のたちの川で遊ぶ姿を見ることが出来ず、魚も少ないので残念に思っている。もう少し親しみが持てる環境整備をお願いしたい。

【その他】

- ・球磨川の水源標高はいくらか。
- ・(球磨川流域で)雨量の測定箇所は何箇所あるか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

